

JAL 社会連携講座

実務家教員派遣のご案内



航空運送事業を通じて培ったエアラインビジネスの知見と、
実務に根ざしたホスピタリティの真髓を、次世代の学びの場へ

理論と実務を融合させた本講座は、学生の自律的なキャリア形成を支援し、
社会課題を多角的に捉える高い視座を養う、産学共創プログラムです



JAPAN AIRLINES / JAL AVIOFUTURE LAB

JALならではの3つの特徴

日本が世界に誇る強み

長年培ってきたグローバルレベルのホスピタリティや、エアラインビジネスなどの最前線を、現場の生きた事例とともに学べます。

経験豊富な講師陣

客室、国内外の支店や空港、企画部門など、多様な専門分野でマネジメント経験を積んだ、JALグループの現役社員が講師を務めます。

カスタマイズ可能な講義

講義回数や内容は、各大学のご要望に応じて柔軟に対応いたします。オンラインでのリモート講義も可能です。

講座概要

単位科目、課外講座に加えて、夏期・冬期の短期集中講座も実施しています。



コース名	授業概要
ホスピタリティ・マネジメント (日英)	ホスピタリティの本質を、エアラインやサービス産業の最新ケーススタディを用い、理論と実務の多角的な視点から体系的に考察します。テクノロジーとの共創時代だからこそ求められる「心が伝わるコミュニケーション力」や「共感力」をグループワークを交えて養い、多様な社会で信頼を築くための「真の実践知」を習得します。
エアラインビジネス	世界の人流・物流を支えるエアラインビジネスの全体像を、経営・運用・実務の多角的な視点から包括的に学びます。フルサービスキャリアとLCCの比較や、市場環境の変化に伴うビジネスモデルの変容、空港運営や安全管理、現場のオペレーションまで幅広く網羅します。さらに、社会情勢の激変を経た事業構造の再構築や、サステナビリティ、新領域への挑戦を考察し、次世代の航空事業の全容を体系的に習得します。
観光・ツーリズム	グローバルに展開する社会現象としての「観光」を取り巻く、社会・産業・行政について包括的に学びます。さまざまな利害関係が複雑に絡み合う観光現象を社会的・文化的背景のもとに考察し、グローバルな視点で課題を整理し解説していきます。観光学の基礎や、観光産業の現状、社会的な取り組み、仕組みを学習します。
キャリアデザイン	「キャリア」「働くこと」を主体的に考えデザインする力を養う講座です。職業興味領域分類に基づいた自己理解ワークや、航空業界の各職種（客室乗務員、運航乗務員、企画職など）の研究を通して具体的な職業イメージを形成します。また、社会人になってからの学びやAIが進化する時代の人の役割について考えるセッションを取り入れ、長期的にキャリアをデザインし続ける力を習得します。
課題解決型学習 (Project-Based-Learning)	JALの強みやリアルな社会課題をテーマに、学生の主体性と論理的思考力を養う実践型の講座です。社会課題の解決や新規事業考案などにチームで取り組み、多角的な視点を身につけます。最終発表では、講師から企業視点での実践的なフィードバックを行い、学生のさらなる成長を促します。

講師陣

多様な実務経験をもつ現役社員(マネジメント経験者)が、実践的な学びをサポートします。



講座プログラム例（14～15コマ：100分または90分の場合）

回	ホスピタリティ・マネジメント	エアラインビジネス	観光・ツーリズム	キャリアデザイン
1	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
2	ホスピタリティとは何か (ホスピタリティの歴史と文化)	世界と日本の航空事情	観光資源	職業興味と自己理解①
3	日本のホスピタリティとおもてなし	航空産業の歴史	コロナ禍の影響	職業興味と自己理解②
4	ホスピタリティマネジメント (サービスとホスピタリティ)	空港運営	トラベルビジネス	職業興味と自己理解③
5	ケーススタディ① エアライン	エアラインのビジネスモデル	エアラインビジネス (航空事業)	仕事満足と価値観
6	ケーススタディ② 宿泊業	LCCのビジネスモデル	エアラインビジネス (経営戦略)	業界研究 (航空業界の基礎知識)①
7	ケーススタディ③ テーマパーク	マーケティング (商品・サービス戦略・販売戦略)	ホテルビジネス	業界研究 (航空業界の基礎知識)②
8	ケーススタディ④ 飲食業	貨物事業	旅館ビジネス	職種研究①
9	ホスピタリティと安全	安全とリスクマネジメント	日本の観光政策	職種研究②
10	ホスピタリティの実践	運航管理 (運航管理者・運航乗務員)	訪日外国人	リーダーシップとチームワーク
11	サステナビリティとホスピタリティ	フロントラインの仕事 (グラウンドスタッフ・客室乗務員・航空整備士)	自治体・DMO	キャリアとテクノロジー
12	未来のホスピタリティ	サステナブルな航空事業	オーバーツーリズム	ビジネスマナー
13	グループワーク	エアラインの事業構造改革	ワーケーション・Maas	キャリアシミュレーション
14	グループ発表	エアラインビジネスの今後	ツーリズムのこれから	行動計画策定
15	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ

課題解決型学習 (Project-Based-Learning) テーマ例

PBL講座の流れ

1. 課題提示・課題発見

2. チーム活動
(情報収集・調査分析・ディスカッション)

3. 発表・フィードバック

地域活性化	JALスタッフと考える地域の魅力と絆
サステナビリティ	地球にも人にもやさしい旅のカタチを考える
インバウンド	JAL社員になったつもりで、インバウンドの地方誘客策を考案する
ダイバーシティ	障がいのある社員が活躍できる新たなビジネスを提案する
SDGs	SDGsの観点から新しい機内食サービスを考える
旅	三方よし+日本の文化=観光立国日本の価値向上となるような「旅」を考案する
新規事業創出	他業種とコラボレーションしたJALの新規事業を提案する
イノベーション	ホスピタリティを活かして、20年後の社会にどんなイノベーションを起こしたいか
日本文化の発信	おもてなし文化を世界に発信するプロジェクト

受講者の声 (講座アンケートより)

ホスピタリティ・マネジメント

- 講師の経験も交えて教えてくださり、理解が深まった。ロールプレイやグループワークも多く、活発な意見交換が交わらせて対話力や思考力も養えた。
- 講義で教わったホスピタリティを実践していくうちに、アルバイト先での評価も良くなり、自身の行動の変化と成長を実感できました。

課題解決型学習 (PBL)

- JALがもつ強みを活かした地域活性化について考える機会はとても貴重であり、企業理解と地域の課題に目を向けることを両立できて有意義な経験になった。
- 企業の方からの直接のフィードバックにより、アイデア創出にとどまらず、現実レベルまで提案を深めることができ、大きく成長できました。

エアラインビジネス

- ただ単に飛行機を飛ばすだけでなく、安全への徹底した取り組みや、地域活性化・環境保全など多角的な社会貢献をしていることを知り、視野が広がりました。

観光・ツーリズム

- 地域活性化やツーリズムなどそれぞれのテーマにおいて事例を紹介してくださったので、その事例が面白く、観光業界のそれぞれの分野の深い理解につながった。

キャリアデザイン

- 今後の進路選択やキャリアを考える上でも、非常に参考になる講座だった。現場で働く方のリアルな声に触れたことで、印象がより現実的なものへと変化した。

参考図書のご案内

講義の副読本としても最適！JAL航空みらいラボが執筆した「やさしく学ぶ」シリーズ。学生の自律的な学習や、業界研究・キャリア形成に役立つ一冊です。

やさしく学ぶ エアライン・ビジネスの世界



航空業界の現状と課題を分かりやすくまとめた構成。現場社員のリアルな声や最新動向を網羅。

詳細はこちら ▶
book.impress.co.jp/books/1124101131



やさしく学ぶ ホスピタリティの世界



個人から組織・社会へと視点を広げ、多様な事例を交えながらホスピタリティの本質を体系的に解説。

詳細はこちら ▶
book.impress.co.jp/books/1125101090



■ 株式会社JAL航空みらいラボについて

JALグループが有する航空に関する専門的知見に加えて、教育機関や研究機関などを含めた社外からの見識を取り入れた客観的な調査研究と、産学連携を通じた次世代育成を推進し、航空業界の持続的な成長とサステナブルな社会の実現を目指す会社です。

【JAL航空みらいラボ 産学共創部】



【Webサイト】
jalaviofuture.co.jp



【講義実績】
jalaviofuture.co.jp/academia



【What's New JALラボ】
jalaviofuture.co.jp/whats-new

お問い合わせ・ご相談

✉ jal-jisedai@jal.com